

キャリア支援室の取り組み

キャリア支援室 杉本景子

1. はじめに

当大学のキャリア支援室で、2012年4月から、個別相談を中心に就職活動等の支援を担当している。今回、キャリア支援室の取り組みを年間スケジュールに整理しましたので、ご紹介したいと思います。

2. キャリア支援室の業務スケジュール

キャリア支援室の業務は大きく分けて、学生への支援、企業との関わりの2つがある。今回は日本経済団体連合会（以下、経団連）が2013年9月に発表した採用選考に関する指針により、就職活動スケジュールが大きく変更になった。そのスケジュールで就職活動を行う、2016年3月卒業予定の学生の1年（2014年4月～2015年3月）、2年（2015年4月～2016年3月）へ行った支援と現在進行中のスケジュールを例として最終ページにまとめている。以前からの取り組みも含め、スケジュールの赤の枠で囲まれた内容について、次にご紹介する。

3. 学生への支援

学生への支援には集合（主に1年生対象）と個別（主に2年生対象）がある。キャリア支援室のメイン業務の個別就職相談を中心に以下にご紹介する。

3. 1 就職活動相談、求人企業情報閲覧（参考：年間スケジュール※1、※2）

（1）キャリア支援室の環境

求人資料は、対象の各学科へ提供し、キャリア支援室の掲示板にも掲示している。また、会社パンフレット等とともにファイルに綴じた資料としても閲覧できるようにしている。他には、就職関係の図書（業界地図、四季報、SPI試験、一般就職試験対策本等）を揃えて、パソコンを3台設置し、応募書類の作成やインターネット検索等ができるようにしている。

学生からはキャリア支援室を初めて利用する時、入室しにくかったという声がある。求人閲覧や、パソコンの利用だけでも可能なのだが、用事がないと入りにくいようである。数回、来室すると、自分なりの利用の仕方がわかり、また私たち担当職員とも顔見知りになると、緊張感もほぐれ、よく立ち寄る学生もでてくる。自主的に来室できず、一人で悩む時間があると支援が遅れがちになるため、声掛けをしたり、冷暖房時以外はドアを開放したり、レイアウトを変更してみたりと工夫している。今後も学生の意見等を聴いていきたい。

（2）就職活動相談（個別就職相談）

キャリア支援室のメインの業務は学生の就職に関する相談対応である。相談場所は円形のテーブル席か、よく見られる相談窓口のように両側に仕切りがある机を挟んで対面で着席し、面談している。相談に訪れる学生は、専門課程、応用課程の2年生がほとんどで、内容は就職活動の進め方の相談、助言を求めるものである。中でも多いのは履歴書、エントリーシート等の応募書類

の作成、面接等に関することである。

① 応募書類作成

まず、就職活動のスタートに必要なものとして、履歴書、エントリーシートがある。学校指定の履歴書項目は「氏名」、「住所」、「学歴」、「資格」等の他、自己紹介部分として「志望動機」、「自己PR」、「学生生活を通じて得たこと」、「得意な科目」、「趣味・特技」である。初回相談は書き方が全くわからないと相談に来るが、まず、1年次に記入した、ジョブカード等を参考に、書けるところは下書きしてもらい対応している。その中でも特に「志望動機」は入室するほぼ全員が頭を抱えながら、書いている。新卒募集はほとんどの場合、企業説明会が先にあり、工場見学等をさせていただいているので、面談する場合は、印象等を聞きながら、キーワードを拾ったり、学科との関連などを聞き、どのように伝えるかを考えてもらっている。

「自己PR」についても、なかなか記入しにくいという学生がいる。学業についてPRすることに躊躇する学生も、アルバイトで先輩の指導をしたり、清掃等に一生懸命取り組み、上司からお褒めの言葉をいただいた経験があったりと、丁寧に聞くと、PRできる内容が出てくる。他には、企業のご担当と面談する際に話題に上がり、学園祭の様子をお伝えすると、地域の子供たちへのものづくり教室や模擬店等の運営等に興味をもたれる。「学生からもどのような取り組み、経験をしたのか聞いてみたい」などの声があり、学校のイベントも学生が思っている以上にPRできる内容になる。

履歴書作成には丁寧に書くものであり、慣れてきても清書まで1～2時間程度かかり、人によっては何日も取り組んでいることがある。ほとんどの求人応募には、締め切りがあるので、授業終了後の放課後に四苦八苦しなながら、書き上げることがを繰り返し、「履歴書は時間があるときに書ける部分を書いて、数枚用意しておいた方がいい」という言葉に納得してもらえることとなる。

② 面接

面接の受け方の相談では、模擬面接を行うことが多い。予約制にしているが、数人の希望が重なり、集団面接の練習にしたり、と臨機応変に対応している。個別練習では細かい部分の指導が行き届き、集団では各々の立ち居振る舞い、準備した受け答えの確認したり、とお互いの良いところを吸収し合える機会になり、有効だと感じている。

就職スケジュール変更の影響か、2015年4月～6月頃は模擬面接希望者が多く、放課後はほぼ毎日、キャリア支援室の担当者の1～2名が模擬面接を実施した。

学生たちには事前準備として、自己PR、学生生活で特に学んだこと、志望動機（応募企業がある場合）等を準備してもらい、練習に臨んでもらう。大抵の学生の気がかりは、履歴書に書いた通りに覚えて話せるかという点だが、面接練習をしてみると、話の内容以外の部分も印象の多くを占めていることに気づいてくれる。例えば、話の組み立てでは、簡潔に内容を伝えること（結論を先に話す等）、立ち居振る舞いでは、身だしなみ（清潔感）、アイコンタクト（目線の向き、特に挨拶時のお辞儀の前後は必ず相手を見る等）、表情（明るい表情・笑顔）、姿勢（背筋が伸びているか）、声（大きい声で、はきはきと話せるか）等も意識して、自分らしさを発揮できるように指導している。

③ キャリア・カウンセリングの例

・キャリア・カウンセリング（就職活動中期・後期の支援（7月～3月））

夏休みが終了すると継続して就職活動を行っている学生に加え、就職意欲がわからないという学生、就職活動をせずに過ごし、気づくと周囲に内々定者が多くなり焦ってきた学生等、何からすればいいのかわからないと訪れる学生が多くなる。継続して就職活動を行っている学生も精神的にも疲れてきているため、声掛けをして、各学生の様子を見ながら相談を継続している。

どの学生にも、自己理解を促し、自分自身の成長に気づいてもらい、自信を持ってもらうよう

な面談を心がけている。また、どのような仕事をするとしても、準備することは必要だということを確認してもらい、ジョブカードや自分なりに下書きした履歴書を持参してもらい、丁寧にこれまでの学習歴や課外活動、得意なことなどを確認し、履歴書を仕上げている。履歴書が仕上がる頃には、気持ちも少し前向きになってくる。時期的に求人が少なくなってくるため、できるだけ放課後に時間を作って来室してもらい、応募書類の下準備と同時期に企業説明会や求人情報を提供し、行動につなげられるように努力をしている。

10月～11月頃に就職活動を継続している学生には提供できる求人が少なくなるため、企業とのコンタクトをとることが多くなる。学生にはこれまでの学校求人から希望の求人を選んでもらい、募集を行っているか、連絡することもある。また、並行して来期の求人依頼等の案内とともに、学生の「学科」、「希望職種」、「取得資格」「得意科目」「自己PR」等、簡単なプロフィール（希望者のみ実施。名前は非公開）を、今までお付き合いのある企業に、送付し、面接希望の学生を指名していただくことも行っている。（参考：年間スケジュール※7）毎年、数社の反応があり、求人が少なくなり、学生が不安に思っている時期に指名があると、気持ちも前向きになり、就職に結びつくケースもある。

・キャリア・カウンセリング（長期の支援）

人数は少ないが専門課程1年の頃から、応用課程に進学し、卒業・就職するまで、継続して相談に訪れる学生もいる。内容は、応用課程進学相談、学生時代にどのような経験をするべきか等、自分自身の考えを話したり、インターンシップ後や就職活動等の報告で自主的に話をしに来室する。彼らは、相談の過程で、自身の考えを整理することで、学習や就職活動のモチベーションを維持したり、自分の将来を考え、意思決定する等、キャリア支援室を十分活用してくれているようである。

3. 2 ハローワークとの連携（参考：年間スケジュール※3）

例年、ハローワーク岸和田の学卒相談のご担当による、面接セミナーを実施している。2014年は（7月、10月）ハローワークの学卒窓口のご担当を講師に招き、面接セミナーを実施した。12月～2015年1月頃にはハローワーク求人を持参いただいて、相談会も実施している。

2015年は面接セミナーを7月に実施し、10名の参加があった。学生たちには、普段顔を合わせている職員でなく、外部の方からの面接指導は緊張感があり、様々な学科からの申込者と練習するので、学生同士、刺激があり、よい経験になっているようである。

3. 3 卒業生への支援（参考：年間スケジュール※4）

毎年、数名の卒業生が再就職の相談に来られている。この時は学科や学校とのつながりの深さを感じる。ほとんどの方は早期の就職を希望されているため、企業から受け付けた中途採用募集があれば紹介し、履歴書や職務経歴書の作成相談を行っている。併せて、求人や雇用保険手続き等のハローワークの利用案内を行い、スムーズに情報を収集できるようにサポートさせていただいている。

4. 企業との関わり

4. 1 就職フェア（参考：年間スケジュール※5）

2016年卒業予定者向けに2015年3月、4月、5月、7月の4回開催し、3月～5月に各56社、7月に49社の企業にご参加いただいた。

4回の開催になった経緯は、例年3月、4月の2回の開催だったため、前年度（2015年卒向け）は企業からの多くのお問い合わせをいただいたが、就職フェアに参加できない企業が多数でしまい、代替案として、個別の学内会社説明会を実施したが、日程調整等の準備に苦労した。そのため、

4 回開催を試みる事となった。日程は例年、3 月は 1 週目に実施していたが、採用選考に関する指針に基づき、学生への就職フェア求人冊子配布を 3 月 1 日以降にしたため、3 月 2 週目に実施することに決定した。

日程変更の影響としては、就職フェアの翌日から春休みだったため、この期間は学生の就職活動の様子が把握できなかった。4 月、5 月は盛況で、学生たちも活発に訪問していた。7 月の体育館での開催は気温が高いこと、内々定や他の企業訪問と重なった等で、就職活動中の学生が少なくなってきたこと等があり、次年度は開催月、回数、場所等の検討が必要である。

4. 2 求人確保等（参考：年間スケジュール※6 ※7）

毎年 12 月頃に学校案内と共に求人のお願いを郵送させていただいている。2014 年は 324 社、2015 年 8 月現在では 389 社の企業から求人をいただいた。

他に、大阪府雇用開発協会、堺市産業振興センター、堺商工会議所、和泉商工会議所、関西電子情報産業協同組合（順不同、敬称略）等、各団体のご担当とも随時相談をして、インターンシップ先、求人確保に努めている。昨年から今年にかけては、求人ご担当者の訪問が増え、キャリア支援室の全員で随時対応させていただいている。とてもありがたいことである。

最近では学校ホームページ等をきっかけに初めてお問い合わせいただくことも増えてきた。初めてご訪問いただいた際は、面談、学校のご紹介をするとともに、可能な限り、関係する学科にご案内し、実習場や授業風景の見学、指導員の先生方からの説明を通して、理解を深めていただいている。実習や授業内容を知っていただくと、ご担当からは学校、学生への印象は期待以上の感想をいただいている。

近隣地域の会社であっても、最近、初めてご訪問いただき、学校の名前やどのような学校なのか、今まで知らなかったということもよく聞くので、まだ学校の PR が足りないと感じている。

面談時には、デュアルシステム型生産技術科や、2014 年 4 月にスタートした住居環境科を中心にインターンシップの受け入れ可否も、確認している。

最近では、インターンシップの受け入れ可能企業が増え、現在は不可でも、受け入れを前向きに検討している企業が多くなってきている。たとえ数日でも企業で仕事の体験をさせていただくことは学生にとって、いい経験となるため、今後はこの流れを活かしていきたいと考えている。

5. おわりに

学生は授業、アルバイトと忙しい日々を過ごしているため、就職活動の為に時間は意識しないと作ることができない。まだまだと思っているとすぐに 1 年生が終わり、2 年生の夏休みとなってしまふ。締切から逆算してスケジュールを立てたりという経験は少ないとは思いますが、早めの取り組みを意識して、行動できるように、後悔のないように進路を決めてほしいと考えている。

キャリア支援室は、学生が人生の多くの時間を過ごす「仕事」に出会うため、様々なサポートをしていく役目がある。

学生が就職活動、進路等に関して、不安な点があれば気軽に立ち寄り、学生自身の力を発揮・成長できる場（企業等）を見つけるため、情報提供や、希望の実現に向けて相談できるように、今後も試行錯誤ではあるが、環境面、必要な情報の収集・提供、相談スキルの向上などに取り組み、開かれた場所として、学生たちを迎えたいと思っている。

最後になりましたが、学校職員・各学科指導員の皆様には、学生対応時や企業のご担当との面談等、ご協力をいただき大変感謝しております。今後もキャリア支援室への様々なご意見、ご指導をいただきたく、よろしくお願いたします。

<参考>キャリア支援室が関係する業務の年間スケジュール

※2016年3月卒業予定者の1・2年を事例として(2014年4月～2016年3月)

